回覧

芸術村かわらばん

2021
7月号

同時開催！七月の展示

アーティスト・赤羽秀斗さんの初個展『糸の様な息。』を六月九日（水）から開催しています。

二〇二〇年クラウドファンディングで資金を集め、アートを発信するフリーペーパー「Free magazine 私たちは海を知らない」を制作し、全国高校生Myprojectaward2020にて全国優秀賞を受賞しました。西会津国際芸術村も掲載いただき、設置させてもらいました。

本展では、人間の表層と深層を表現した作品や、東日本大震災から十年、「3.11を伝える」行為を見つめ直す『The word building 3.11』などの作品を展示しています。

また、六月十二日（土）からは、居村浩平さんの個展『やまいろのちょうらく』を開催しています。

「弥生」という西会津町内の集落を取り上げ、トポフィリア（場所への愛）をテーマに、集落住民や関係者への取材、文献調査による作品を発表します。

居村さんは、六月末で任期を終了した西会津町の地域おこし協力隊で、これまで情報発信分野担当で活動してきました。アーティストとしての活動も平行しており、主体と客体の相互作用による「批判的想像力」を手がかりに、ビデオ、写真、テキスト、インスタレーション、パフォーマンスなど、さまざまな形式で作品を制作する活動も行なってきました。近年は、地域の土着信仰や民芸、動植物をリサーチしながら、文化的周辺へと関心を広げています。

どちらの展示も七月十八日（日）までです。ぜひご来館ください。

1年ぶり！待ちに待った開催！草木まとって山のかみさま

六月十九日（土）山の神を祀る・大山祇神社で開催されている「大山まつり」に合わせ、「草木をまとって山のかみさま」のイベントが開催されました。

昨年度はコロナ禍において開催中止となったイベントですが、本年は、コロナ感染症予防対策を実施した上で、開催する運びとなりました。

当日は、神楽殿にて、草木をまとったアーティストたちが舞や音楽、祝詞を山の神さまに奉納し、その他一般の参加者には神楽殿にて草木をまとって頂くという試みを行いました。

体験した方は、「草木を纏うことで、自然と一体になった感じがして、不思議な気持ちになりました。」と感想を述べていました。

木造校舎を活かして 芸術村でウェディング

六月十九日（土）、芸術村の木造校舎を活かして、ウェディングパーティーを行いました。

ご親族の方は、「こんな素敵な場所があることを初めて知りました。楽しかったです。」と感想を述べていました。当日は、会津の郷土食を活かした創作料理が振る舞われ、終始和気あいあいとした雰囲気に包まれていました。

YouTube更新しています

動画第十二弾は「小さな畑を作ろう」

西会津国際芸術村では季節に合わせた動画の配信をしています。第十二弾は「小さな畑を作ろう」。今回は、芸術村にある花壇を開墾し、苗を栽培する過程を動画にしました。この動画では極力、肥料や支柱は買わず、元々あるもので畑作りを行っています。

西会津の初夏の日差しや温度感が伝わればと思います。土いじりを始めてみるきっかけになれば嬉しいです。

ご紹介した動画はこちらから視聴可能です。

→

【YouTube】

下記のQRコードより過去の作品もご覧いただけます。
チャンネル登録よろしくお願いします！

スタッフおすすめ

今月の本　「バクマン。-BAKUMAN-」

この本は、「じぶんカフェ」にてお読みいただけます。

芸術村スタッフのおすすめの本をご紹介。今月は小柴が担当します。

みなさんに夢はありますか？突然暑苦しい質問だと感じるでしょうか。当時の少年漫画の作品としては、現実を見て夢をもたない（もてない？）主人公は私にとって衝撃的でした。この本を読むと、やりたいことに熱中することの楽しさが思い出されます。

マワリテメクハ

季節の小話と一句

七月七日　小暑（しょうしょ）

だんだん暑さが増していくという意味。小暑と大暑を合わせたおよそ一か月を「暑中」といい、「暑中見舞い」を出す期間。

七月二十二日　大暑（たいしょ）

一年でもっとも暑さが厳しく感じられる頃。体力を保つために鰻を食べる「土用の丑」もこの時期。

今月の一句

刺す太陽
眩む暑さで
うなぎ食う

芸術村の人々

赤羽秀斗

あかばね　しゅうと

アーティスト

個展『糸の様な息。』を開催いただいてます。会津若松市生まれの高校生の赤羽さん。擬音語、擬態語が会話中に出てくるのですが、どれも特徴的な表現で面白いです。お話ししていると、高校生の時に自分はこんなにしっかりしてたかなと考えさせられます。

来館者の声

アンケートに答えてくれた方のコメントをご紹介します。

ナビで来たものの少し不安になったけど、どこに連れて行かれるのかワクワクもしました。備品などが残されているのも良かった。（匿名希望）

SNS更新中！
チェックしてみてね！

【HP】　【instagram】　【Facebook】　【YouTube】　【Twitter】

【お問い合わせ】西会津国際芸術村
tel&fax 0241-47-3200
mail niav.public@gmail.com
〒969-4622 福島県耶麻郡西会津町新郷大字笹川上ノ原道 5752